

行財政改革大綱後期実施計画

実施事項名	幼稚園の統廃合			重点項目番号	4				
現状、問題点、必要性 (なぜやるのか)	<p>【現状】 当市には「ふたば」「しろはと」の2幼稚園があるが、ふたば幼稚園は耐震強度不足で使用不能であり、しろはと幼稚園も昭和51年築で相当な改修が必要な状態である。両園はここ数年定員の約55%の入園率となっている。</p> <p>【問題点、必要性】 幼児教育を担保していくうえで、現在の施設は機能を有しない状態である。ニーズや立地条件等から両園を新規園舎に統合することが求められる。</p> <p>【現状の客観的な説明】 現在の園舎は耐震性等の点から使用に供することは困難である。ニーズについても少子化が進行していくことで、現状がピークであると考えられる。</p>			番号	①				
				担当課(執行する課)	教育部教育総務課				
				責任者名(執行責任者)	教育総務課長 小澤 猛				
				担当課電話番号	22-9675				
対象等(なにが、だれが)	市が設置する幼稚園			財政効果額(千円) (いくら削減されるのか、いくら収入増となるのか)	<p>【金額】 経費減18,000千円/年 保育料増 2,600千円/年 【算定根拠】 統合幼稚園の予定管理運営経費現2園の平均的管理運営経費を比較した。</p> <p>主な節減要素としては、園長1・教員(臨時)3・用務員1名減による人件費17,000千円、消耗品・教材関係備品等1,000千円等が上げられる。また、保育料を5,900円/月から、7,200円/月に見直しを予定しており、保育料収入も現行11,887千円から14,500千円への増を見込む。</p>				
成果(対象がどうなるのか)	安全性の確保や、ニーズにみあった施設で管理運営できる。								
実施する内容・目標数値 (対象を成果の状態にするために、何を、いつまでに、どのようにやるのか)	<p>【実施内容】 幼稚園を存続することを決定したため、建設地や施設規模、スケジュール等について決定し、建設に向けて取り組む。</p> <p>【目標数値】 《最終目標》平成22年度からの統合幼稚園の開園を目指す。 《平成20年度の目標》保護者、地域への説明、設計を行う。 《平成21年度の目標》進入路・園舎の造成、建築工事を実施する。</p> <p>【目標の客観的な説明】 市内の公立幼稚園が集約される。3歳児2学級定員40人、4歳児3学級定員90人、5歳児3学級定員90人の規模となり、入園率を80%以上にする。</p>			特記事項					
目標を達成するための活動指標(全体目標を達成するために個別に実施する項目) (何をどれだけやるのか)	活動指標名	目標値	定義・算定式	行程表(いつまでにやるのか)					
				平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				4月	10月	4月	10月	4月	10月
	保護者、地域への説明会開催		5月中旬に統合幼稚園設置準備委員会開催予定	⇔					
	園舎建築設計			⇔					
	進入路造成工事				⇔				
	園舎建築工事				⇔				
開園						⇔			
						⇔			
						⇔			